



みんな元気!! 食育体験レストラン

※この「レストラン」は事業名です。

中央卸売市場食育講座

▽内容 親子で、中央卸売市場の見学や環境に配慮したエコクッキングなどを学びます。
▽献立 ひき肉と夏野菜のカレー、芋もち、ヨーグルトベジドリンク。

▽日時 7月30日(火)9時30分～14時30分。受け付けは9時20分から。

▽会場 中央卸売市場(北12西20)。

※現地集合です。車での来場はできません。

▽対象・定員 区内在住の小中学生とその保護者・40人。

▽持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、手拭き。

▽費用 大人300円、小学生200円。

▽申込 6月11日(火)9時から電話で(ファクス不可)。先着順。

(申込詳細) 健康・子ども課 健康やか推進係 ☎(511) 7221

中央老人福祉センター からのお知らせ

健康講話「みみのお話」

▽内容 耳鼻科の医師から目まい、耳鳴りなどについて学

びます。
▽講師 とも耳鼻科クリニック 新谷朋子院長。

▽日時 6月26日(水)13時～13時40分。

▽会場 中央老人福祉センター大広間(大通西19・社会福祉総合センター2階)。

▽対象 満60歳以上の方。
▽申込 不要。当日、直接会場へ。

(詳細) 中央老人福祉センター ☎(614) 1001

子どもの交流の日

▽内容 アニメ映画会や工作会、ボール遊び、塗り絵、絵本の読み聞かせなど、毎回いろいろな遊びや催しを行います。親子連れでも参加できます。

▽日時 6月29日(土)、9月21日(土)、11月30日(土)、12月21日(土)、平成26年2月22日(土)、3月15日(土)の9時～12時。

▽場所 中央区民センター2階区民ホール(南2西10)。

▽対象 区内在住の幼児・小学生(幼児と小学1・2年生は保護者の同伴が必要)。

▽費用・申込 無料・不要。当日、直接会場へ。

(詳細) 札幌市子ども会育成連合会中央区支部事務局

☎(271) 1096

カラスが街に 巣を作る原因は?

カラスが街に巣を作るのは、餌となるごみが近くにあることが一番の原因です。ごみステーションの管理を徹底し、カラスの餌場にされないようにすることがカラスの増加を抑えることにつながります。

◆ごみステーションのネットをしっかしかぶせたり、カラスよけサークルを活用したりして、カラスがごみを引っ張り出せないようにしましょう。

◆排出時間などのルールを守りましょう。



問い合わせ先	
公園・街路樹にできた巣 ※威嚇などの危険を確認した場合に撤去などの対応をします。	中央区土木部維持管理課 ☎614-5800
電柱にできた巣	北電柱 北海道電力 ☎251-1111
	NTT柱 NTT東日本-北海道 ☎0120-270-794
ごみステーションのカラスよけ 器材に関して(事前に相談を!)	中央清掃事務所 ☎581-1153

※市では、民有地の巣の撤去は行っていません。
※巣の中に卵やひながいる場合の巣の撤去は、市の許可が必要です。詳しくは、環境局みどりの推進課(☎211-2522)へ。

野生のキツネと エキノコックス症について



キツネは野生動物であり、人間とは一定の距離を置く必要があります。

◆寄せ付けないためのポイント

◆キツネに餌を与えない。
◆ペットの餌を放置しない。
◆ごみ捨てのルールを守る。

◆畑や庭に生ごみを埋めない。
◆キツネが嫌がる木酢液・クレンジールを使う。

また、キツネを媒介する感染症としてエキノコックス症が知られています。キツネに寄生したエキノコックスと呼ばれる虫の卵が、人の口から体内に入り、幼虫となって肝臓などに寄生し、肝機能障害などを起こす病気です。

現在では、血液検査などで早期に見え、手術によって治すことができます。

◆感染予防のためのポイント

◆キツネに触れない、近づかない。
◆帰宅後はしっかりと手洗いをします。

◆ペットの放し飼いをしない。
◆家庭菜園の野菜はよく洗う。十分に加熱して食べる。

(詳細) 健康・子ども課生活衛生係 ☎(511) 7227

横断歩道を渡る前には、青信号でも、周囲の安全をよく確認してから横断しましょう。